

教えて！ ドクター Q&A

(株)宣通 (052) 979-1602 広告

Q 高校生の息子は、サッカー部に所属しています。最近、膝が痛いと言っていますが、どのくらいの痛みがあると病院へ行くべきですか。

A この度はご質問有難うございます。高校生のサッカー選手の手や膝痛ということでは、選手ご本人もご家族の方々も不安と思います。

一般的にアスリートの膝痛は、急性外傷による痛みと慢性障害による痛みに分かれます。前者は明らかな外傷のエピソード(例えば打撲、捻挫など)がある場合です。後者は逆で明らか外傷歴がない場合です。前者の場合、なるべく早く医療機関への受診をお勧めします。理由は急性外傷による膝痛の場合、骨折や脱臼、靭帯損傷、筋腱損傷など比較的重症の場合もあります。大したことないと思っても可及的早期に受診をして診断を

受けることを強くお勧めいたします。

また慢性障害での痛みもサッカー選手では多く経験します。サッカーはダッシュ、ストップ、切り返し、ジャンプ、キックなど、多種多様な動作を要する比較的高いスポーツの一つです。特に成長期から思春期にかけては、その年代に特徴的な障害が生じる傾向にあります。「プレーはできるが痛みでパフォーマンスが十分に出せない」という程度であれば整形外科への受診をお勧めします。その際にはスポーツ整形外科を専門とするクリニックが良いと思います。理由は医師のみならずクリニックスタッフがスポーツ医療に精通している場合が多いからです。診断が非常に重要ですのでまずは医療機関を受診し医師の診断を受けてください。早く良くなると思います。

1995年京都府立医科大学医学部卒業、2005年名古屋大学大学院修了医学博士、南カリフォルニア大学博士研究員、2010年名古屋第二赤十字病院整形外科副部長、2015年名古屋グランパス専属チーフチームドクター、2020年現職。日本整形外科学会認定専門医、同学会認定スポーツ医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター。



院長 深谷 泰士
(あつたの社 整形外科スポーツクリニック)